

平成27年度
第1回北区まちづくり協議会全体会

会 議 録

日 時：平成27年8月5日（水）午後2時30分開会
場 所：札幌サンプラザ「金枝の間」

1 開会

○司会（宇賀治市民部長）

2 あいさつ

○座長（新川さくら並木連合町内会 大西会長）

○藤井北区長

3 報告

平成26年度第2回全体会の実施結果について

○北区市民部地域振興課長 阿地課長

平成26年度第2回北区まちづくり協議会全体会は、平成26年11月6日木曜日、札幌サンプラザ「玉葉の間」において、北区まちづくり協議会構成団体の代表者等37名が参加して開催された。

最初に、平成26年9月11日に発生した大雨災害に対する札幌市の対応について、北区市民部吉田総務企画課長から、前日からの天候の状況や、大雨特別警報が発表されてから避難勧告に至る経緯などについて説明した。

続いて、避難所運営ゲームHUGを実施した。ファシリテーターには（有）インタラクティブ研究所の安田代表を講師に迎え、冒頭、避難所運営ゲームの持つ意味や、ゲームの進め方、検討課題などについて説明を行った後、実際にゲームを実施。ゲーム終了後、検討課題とした「暖房について」「トイレの使い方」「ペットの扱い」の3点について班から発表を行った。

各班の検討結果であるが、「暖房について」、採暖室の使い方についてはどの班も、避難者をグループに分け、順番に利用するなどのルールを定める必要があるという意見があった。また、体調のすぐれない方、乳幼児や高齢者などには、優先して採暖室を使っていただくという意見もあった。講師からは、「時間交代などのルールを決めるという検討結果が多い。」「乳幼児や高齢者、障がいがある方を優先する」という意見が出てくるということであった。また、「ポータブルストーブが2個あるので、もう一つ採暖室を作れないかという意見が出ることもあるが、使える教室とは限られるので、学校の管理者と相談しながら運営することが大事だ。」とのことであった。

次に「トイレの使い方」について、水道が断水して、下水道が使えないため、どの班も学校のトイレは使用しないとの意見であった。簡易トイレについては、「男女別に設置する」や、「設置場所は屋外のプール」という意見や、「学校のトイレ室に設置する」という意見が出た。

講師からは、「上下水道が使えないという状況でトイレを使うと、すぐに詰まる。一度詰まると、上下水道が回復しても詰まりが解消しない。そういったことから、学校のトイレは使用せず、簡易トイレを学校のトイレや別に定めた場所に持ち込んで使うことになる。」とのお話があった。

次に「ペットの扱い」について、どの班も、「避難場所の室内には入れない。」という意見であった。屋外に場所を指定したり、空いている小屋や温室などで管

理するという意見もあった。

講師からは、「アレルギーや鳴き声などいろいろな問題があるので、生活空間には入れない方が良い。」といったことと、「外に置くか別の教室にするか、ふん尿や餌の問題をどうするかなど、HUGの研修ではいつも悩ましい問題である。」とのお話があった。

講師からの総括としては、「HUGというのは、避難所を開設・運営するという体験であり、実際の場面では、もっと大勢の避難者が集まり、いろいろなことが起こる。その時に的確な判断をするためには、普段からどういった問題が起きるのかというのを考えておく与实际に避難所を立ち上げるのも早くなる。」とのお話があった。

また、「東日本大震災の際、仙台では、町内会がしっかりしているところは、町内会同士が協力して、すぐに避難所運営を始めたが、そうではないところでは、避難所生活のルールが決まらず、避難者が大変な思いをしたところもあると聞いている。」とのお話があった。

最後に、「こういったことから避難所運営ということについて、普段から考えておく、いざというときに役に立つと思う」と総括された。

続いて、平成27年度のテーマについて、検討を行った。宇野座長より、「平成27年度のまちづくり協議会のテーマについては、引き続き防災としつつ、風水害や雪害などについてもテーマに加えていきたい。」ということと、「意見交換テーマについては、後日検討し運営委員会で決めていきたい。」ということについて、会員に諮り、了承を得た。

なお、平成27年度の意見交換テーマについては、平成27年3月9日に開催した運営委員会において検討した結果、「災害に応じた避難行動について」と決定した。

4 講演

○演題 「北海道の気象災害と防災気象情報について」

○講師 気象庁札幌管区气象台予報課 主任予報官 山下龍平氏

5 閉会

○司会 (宇賀治市民部長)